

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
文化・芸術に関する取り組みの市民満足度割合	69.5%	81.2%	79.7%	80%	80%	80%	80%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 文化拠点施設の機能維持

昨年度実施結果	課題
勤労文化会館の維持管理を指定管理者制度を活用して民間企業に委託しており、貸館の利用促進や自主文化事業の開催によって文化拠点施設として文化振興を推進することができた。	勤労文化会館が開館してから30年が経過しており、大規模改修は実施したものの、施設全体の老朽化に伴う修繕費用の増加が課題となっている。

(2) 文化・芸術団体への支援

昨年度実施結果	課題
春の文化展、みよし市文化祭、みよし音楽祭、みよし公募美術展を開催し、文化・芸術団体を支援した。みよし音楽祭では、従前の市民合唱交流会よりも多くの団体に参加してもらうことができた。	市民合唱交流会に楽器演奏の分野を加えてみよし音楽祭を開催したが、楽器に関する知識や楽器演奏を含む音楽イベントのノウハウが不十分であったことが課題である。

(3) 史跡、歴史的資料と伝統芸能の保存継承

昨年度実施結果	課題
①資料館などの施設及び有形文化財(三好上・下山車など)と史跡(黒笹27・90号窯など)の適正な維持管理を行った。②発表会の開催や補助金の交付などを通して、保存団体の活動を支援した。	①郷土芸能に対する市民の関心をより高め、発表会の観覧者数を増やすための開催方法を検討する必要がある。②酒井家と福谷城跡は、史跡整備を見据えた専門家による調査・研究協力が必要。

(4) 歴史民俗資料館収蔵資料の整理、調査・研究などへの活用

昨年度実施結果	課題
①会計年度任用職員による埋蔵文化財(5箱)や寄贈資料(148点)の整理作業。②古文書保存マイクロフィルム撮影業務委託(撮影本数5本)。③市内埋蔵文化財発掘調査報告書の作成(1冊)。	未整理資料は展示などに活用できず、他館からの借用依頼にも対応できないため、事業の継続が必要。

(5) 企画展・体験講座の実施

昨年度実施結果	課題
①開館日234日、入館者数4,803人。②春・夏・冬に企画展を3回実施。③その他、出張授業8回、体験講座2回、文化財巡りバスツアー1回、スタンプ(シール)ラリー2回、民具の貸出1回実施した。	①地域の歴史を伝える拠点施設として、多様なニーズに対応した展示などの企画を検討していく。②来館者の利便性を考慮し、展示と体験が同じ場所で行えるような施設の更新を検討する。

(6) 埋蔵文化財の保護と発掘調査の管理

昨年度実施結果	課題
①埋蔵文化財の有無の確認申請件数377件。試掘調査20件、本発掘調査3件。②埋蔵文化財包蔵地の記載内容の変更1件。③「市内遺跡発掘調査事業」国庫補助金として3,032,000円交付される。	埋蔵文化財包蔵地の新規記載などの件数増加に伴い、有無の確認や発掘調査の件数も増加傾向にある。事業者との円滑な協議を進める上で、継続的な国庫補助金の獲得が必要である。

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	勤労文化会館を文化拠点施設としてより長く使用することができるよう施設機能の保全と修繕を計画的に実施する。 歴史民俗資料館では、文化財の保存を継続しつつ、市民の歴史的価値観の多様化に対応した、新しい展示施設と文化財の整備・活用を検討していく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

4. 関連する事務事業の評価

関連する事務事業のR6決算総額:	245,527,541 円
関連する事務事業のR7予算総額:	211,452,000 円

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額										
みよし市文化協会補助事業		本市における文化・芸術団体の育成を図ることを目的に、文化協会の芸術文化活動費及び運営費に対し助成をしている。		現状維持	文化協会の自立に向け、専任職員の育成、協会組織の見直し、市の関与のあり方等を検討していく。					
生涯学習推進課										
R6決算額										
3,000,000 円										
R7予算額		施策内優先度		B	積極的に各団体やグループ等の活動内容をPRしていく。また、生涯学習講座で入門編として気軽に体験できる講座を開催し、新規加入者の増加を図る。					
3,000,000 円										
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標		
(指標名)	(単位)									
自主的な活動グループ数	団体	66	65	65	65	65	65	65		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
文化事業委託事業		春の文化展、文化祭(秋)、公募美術展を文化協会に委託して実施している。令和6年度から、文化祭に生涯学習発表会を統合して開催している。 春の文化展 5月 文化祭 11月 公募美術展 1月		現状維持	芸能発表や作品展示を実施することにより、作品出品者のレベルの向上、鑑賞者(市民)の文化・芸術意識の高揚を図るとともに文化芸術活動への参加を促進する。令和7年度からは、事務事業名を「文化事業支援事業」へ変更した。				
生涯学習推進課									
R6決算額									
5,372,000 円									
R7予算額		施策内優先度		B	芸能発表の出演者や作品展示の出展者の増加につなげるため、文化協会の新規会員の発掘に努める。				
5,786,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
出品点数	点	943	980	1,255	1,300	1,300	1,300	1,300	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
勤労文化会館等維持管理事業		勤労文化会館の維持管理を指定管理者制度を活用し、民間企業に委託している。(令和3年4月1日～令和8年3月31日)		現状維持	指定管理による自主事業等で大規模改修した施設をPRして利用者の拡大に努める。 令和5年度から名称を「勤労文化会館等維持管理事業」とする。				
生涯学習推進課									
R6決算額									
175,358,040 円									
R7予算額		施策内優先度		B	計画的な修繕を行い、健全な維持管理を行っていく。				
161,814,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
勤労文化会館の利用者数	人	195,254	257,888	261,267	294,012	288,067	299,193	338,449	

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
芸術文化合唱推進事業		勤労文化会館において、市民が気軽に文化・芸術活動に触れてもらえるよう、みよし音楽祭を開催する。 みよし少年少女合唱団に対し補助金を交付し活動を支援している。 芸術文化の分野における国際大会や全国大会に出場する者に対して激励金を交付し、活動を支援している。		現状維持	従前の市民合唱交流会に合唱だけでなく吹奏楽などの楽器演奏を加え、幅広い音楽イベントとなるよう開催方法を変更した。 みよし少年少女合唱団運営事業補助金については、補助金の見直しに合わせて、将来の方向性を検討する。				
生涯学習推進課									
R6決算額									
2,496,540 円									
R7予算額		施策内優先度		B	みよし音楽祭は、専門知識を有する業者に運営を委託する。 みよし少年少女合唱団は、今後の自主運営の基礎を固められるように支援を行う。				
5,228,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
出演したアーティスト数	人	148	211	368	300	300	300	300	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
文化財保護委員会運営事業		①文化財保護委員会は、10名以内の学識経験者で組織される教育委員会の附属機関である。 ②文化財の保存、活用、指定等に関し、教育委員会の諮問に答え、または意見を具申し、及びこのために必要な調査研究を行う。		現状維持	文化財を保存・活用し、次代に継承するため現在の水準を維持する。 広い視野を持って文化財保護に取り組めるよう、委員の資質向上と他市町村の取り組み状況の調査を行う。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
138,414 円									
R7予算額		施策内優先度		B					
249,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
文化財に関する答申等の件数	件	0	0	0	1	1	1	1	

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
有形文化財保存活動支援事業		①市指定有形文化財の保存のため、所有者及び管理者(以下「文化財管理者」)の活動を支援。 ②昭和56(1981)年に山車3台(1台は解除)、昭和58(1983)年に金比羅宮、平成23(2011)年に石川家住宅が有形文化財に指定。 ③平成27(2015)年にあいち山車まつり日本一協議会が設立。		現状維持	①文化財管理者が、良好な状態で維持保存する取組を継続することが、当該文化財の保存につながるものであり、現在の水準を維持する。 ②未指定の文化財も含めた、市内の文化財全般の活用を視野に入れた保存計画の策定を検討する必要がある。 山車の曳き回しや経年劣化に伴う大規模な改修費用に対する支援が必要となる。 所有者と十分な調整を行う。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
930,000 円									
R7予算額		施策内優先度		B					
1,744,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
保存されている市指定有形文化財の件数	件	4	0	4	4	4	5	5	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
郷土芸能保存活動支援事業		囃子や棒の手といった郷土芸能を保存する団体と協働して、郷土芸能を後世に伝承するため、当該団体の活動を支援する。		現状維持	郷土芸能の伝承活動は、保存団体の指導者などの熱意に支えられ、今後も継続されていくことが、文化財の保存と活用につながるものであり、現在の水準を維持する。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
539,334 円									
R7予算額		施策内優先度		B	①国や民間団体などの実施する助成金などの情報を積極的に提供する。 ②有形文化財と一体となった、活用を視野に入れた保存計画の策定を検討する必要がある。				
640,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
保存活動を継続する保存団体の数	団体	8	8	8	8	8	8	8	

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額										
郷土芸能伝承活動発表会開催事業		①市内には囃子や棒の手、巫女舞といった郷土芸能が古くから伝わっている。 ②各地区において郷土芸能の伝承活動が行なわれている。 ③市民に郷土芸能に対する関心を深めてもらい、郷土芸能の保存団体の活動の励みとするため、郷土芸能伝承活動発表会を開催する。		現状維持	市民が地域の伝統文化である郷土芸能に対する関心を深める機会になっており、事業自体は今後も継続して実施していく。					
歴史民俗資料館										
R6決算額										
462,014 円										
R7予算額		施策内優先度		B	①継続して実施していく方向のため、観覧者数を増やすための方法を検討していく。 ②開催方法などについて検討をするとともに、観覧者数が増えるための方法も検討していく。					
470,000 円										
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標		
(指標名)	(単位)									
観覧者数	人	563	692	707	750	750	750	750		

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
取組分野	2	文化・芸術				
施策主管部局	教育部					
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館			

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額										
埋蔵文化財保存事業		①埋蔵文化財が開発によって滅失してしまう場合は、発掘調査を実施し記録保存する必要がある。 ②昭和53(1978)年の中部電力変電所地内の発掘調査以来、埋蔵文化財の保存事業が継続されている。 ③平成28(2016)年度から埋蔵文化財の事業費増加のため国庫補助を受けている。		現 状 維 持	試掘調査や個人住宅の開発などについては国庫補助の対象となるため、継続的に補助を受けていくとともに、原因者負担となる開発があった場合は、速やかに関係各所と協議し、方向性を探っていく。					
歴史民俗資料館										
R6決算額										
7,039,539 円										
R7予算額										
8,088,000 円		施策内優先度		B		事業者に対する説明と協議調整を十分に行う。				
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標		
(指標名)	(単位)									
試掘や発掘調査を実施した件数	件	34	29	23	40	40	40	40		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
文化財資料購入事業		①地域の歴史と文化に関わりの深い文化財資料を購入し、その散逸と消滅を防止する。 ②資料館の収蔵資料を拡充しながら、購入した文化財資料を、展示会などを通して広く公開する。		現状維持	①市にゆかりのある文化財の散逸を防止し、資料館が収蔵する文化財資料を拡充するため、継続的な購入が必要である。 ②文化財資料を購入するための予算措置をする必要がある。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
0 円									
R7予算額		施策内優先度		B	優品は高額であり、市場に出たときに購入できるように予算措置をしておく。				
0 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
展示等に利用した購入文化財資料の数	件	0	0	0	2	2	2	2	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
資料館施設管理事業		①市の歴史と文化に関する資料を収集・保存し、公開する施設として昭和57(1982)年に開館する。 ②平成16(2004)年に旧給食センター(昭和48(1973)年建築)を改修し、収蔵庫とする。 ③来館者の利便性向上と館蔵資料の保護保全を図るため、老朽化した施設・機器を整備充実する。		現 状 維 持	利用者の利便向上を図るため、設備や機器を整備し、資料館の適正な維持管理を図る必要がある。 資料館在り方検討会の提言や公共施設等総合管理計画の方針などを受け、今後の計画などの策定を検討していく。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
38,441,766 円									
R7予算額		施策内優先度		B					
7,477,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
修繕・改修工事などの実施件数	件	12	8	9	2	2	2	2	

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
資料館展示事業		①広く市民に市の歴史や文化に対する理解を深めてもらうため、昭和57(1982)年に資料館が開館し、寄贈、寄託及び購入により収集した収蔵資料及び他機関の所蔵資料などを展示紹介している。 ②平成29(2017)年度から常設展示をリニューアルしている。		現 状 維 持	地域の歴史と文化を知り、地域への愛着を養う機会を提供するため、展示事業を継続して実施する必要がある。 ①市民の興味関心も考慮した展示テーマを検討する。 ②施設や設備の更新を検討する必要がある。 ③展示に関する長期計画の策定を検討する必要がある。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
3,369,728 円									
R7予算額		施策内優先度		B					
5,722,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
展示会の開催期間中の入館者数	人	5,376	5,270	4,803	5,400	5,400	5,400	5,400	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
資料館資料整理事業		①市民共有の財産である収蔵資料を後世に伝えるため、適正に保存・継承する。 ②資料は寄贈、寄託、購入、発掘などにより収集され、古文書、遺物、民具、美術工芸品、歴史資料などに分類される。 ③収集した資料を整理することで活用・保管が可能となる。		現状維持	①未整理の古文書や遺物などは、展示などに活用することができず、また他館からの借用依頼にも対応できないため、事業の継続が必要である。 ②破損が激しい資料は、適正な保存も難しく、計画的に修復していく必要がある。 ③収蔵施設については、早急な対策立案が必要である。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
2,611,592 円									
R7予算額		施策内優先度		B	貸出などを視野に入れて資料を収集、整理する。				
4,012,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
整理した資料の数	件	7	79	148	100	100	100	100	

事務事業名 (担当課)		事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額		施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額									
石川家住宅管理事業		①石川家住宅は、座敷、長屋門、蔵などからなる明治末期の住宅である。 ②明治43(1910)年に初代村長の石川愛治郎氏の新家として建設され、平成23(2011)年に市有形文化財に指定され、土地、建物、調度品が市へ寄贈された。 ③平成26(2014)年度から一般公開している。		現状維持	①寄贈された土地建物及び庭園を維持管理していく。 ②寄贈された調度品に関しては簡易な目録がなく、保存及び管理のために整理及び調査を継続実施していく。 ③活用を視野に入れた保存計画の策定を検討する必要がある。				
歴史民俗資料館									
R6決算額									
3,589,922 円									
R7予算額		施策内優先度		B	①景観を損ねないように配慮しながら計画的に修繕を行う。 ②現状では、これ以上の成果が望めないため、必要な人的、予算的措置を講じる。				
4,253,000 円									
成果指標		R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
(指標名)	(単位)								
入館者数	人	2,977	3,444	3,711	3,800	3,800	3,800	3,800	